

市 民 公 開 講 座

前立腺がん治療

～身近になった陽子線治療～

平成30年9月15日(土)

14:00～16:00 (開場13:30)

鹿児島県医師会館

4階 大ホール 鹿児島市中央町8-1

会場には駐車場はございませんので、
周辺のコインパーキング並びに公共交通機関をご利用ください。

講座
終了後

スタッフが
相談をお受
けします。

予約
不要

参加費
無料

【座 長】

前立腺がんとはどんな病気？

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
腫瘍学講座 泌尿器科学分野 教授

中川 昌之



【講演Ⅰ】

がんの陽子線治療 -前立腺がんを中心に-

メディポリス国際陽子線治療センター
センター長

荻野 尚



【講演Ⅱ】

指宿での陽子線治療体験談

メディポリス国際陽子線治療センターで前立腺がんを
治療された大門さんをお招きし、ご講演頂きます。 俳優

大門 正明



お問合せ先

☎0120-804-881

一般社団法人
メディポリス医学研究所

1. 座長挨拶・講演

前立腺がんとはどんな病気？

中川 昌之 先生

現在、日本人男性で最も多いがんが前立腺がんです。前立腺がんの診断には、採血での前立腺特異抗原（PSA）の値が参考になります。治療には、手術、放射線療法、ホルモン療法、抗癌剤治療があり、患者さんの状態に応じて治療法が選択されます。鹿児島大学病院では「ダヴィンチ」という手術用ロボットを用いた先進的な手術を行っています。この手術の特徴は、出血量が少なく患者さんへの負担が小さいことです。その他、放射線療法も進歩しておりさまざまな方法があります。

2. 講演 I

がんの陽子線治療 -前立腺がんを中心に-

荻野 尚 先生

がんの放射線治療において、治療成績を向上するための効果的な方法のひとつは、放射線量を病巣のみに集中させることです。これにより局所制御が向上するのみならず、病巣周囲の正常組織への放射線量も必然的に少なくなり、放射線による副作用は減少して、QOL（生活の質）の高い治療が可能となります。陽子線の物理的特性は体表面近くではあまり放射線量を出さずに、到達飛程終端で一挙に放射線量を放出することです。これをBragg peak（ブラッグピーク）と呼びます、この優れた放射線量の集中性を利用すれば上記の目的を達成することが可能です。現在、日本国内で14施設が稼働中です。今年4月から、前立腺がんなど一部の「がん」で公的医療保険を使うことが可能となりました。今までの治療の成績等について、身近になった陽子線治療について前立腺がんを中心に紹介します。

3. 講演 II

指宿での陽子線治療体験談

大門 正明 さん

私は、今から6年前の2012年の夏にメディポリス国際陽子線治療センターで前立腺がんの治療を受けました。治療中はミニバイクに乗りながら森林浴や指宿周辺の観光、パソコン教室に通ったり、時には撮影のため外出したり…と、仕事と余暇を両立しながら治療を受けました。治療中に体験した良いこと悪いこと、治療後のことなどをお話します。

<主な出演作>

（映画「セーラー服と機関銃」、ドラマ「ウルトラマン80」「風林火山」等

4. 市民公開講座終了後～個別相談

市民公開講座終了後、スタッフによる個別での相談をお受けします。ご希望の方は、遠慮なくスタッフにお声掛けください。